

天童市議会だより

2006
8.1
No. 113
TENDO



天童中部地域では、子ども会や小学校、PTAの協力により、市立天童中部公民館を会場に、子どもの居場所づくり事業として「土曜いちょう楽校」を開いています。来年の2月まで10回を予定していますが、初回となった6月17日には、24人の子どもたちが書き駒づくりに取り組みました。これからは、墨絵体験や昔の遊び、だんご木作りなどが予定されています。

6
月
定
例
会

「地域づくり委員会」10年間の評価と今後の方策は …… 一般質問(P4~7)

放課後児童クラブ委託料の割合は …… 総括質疑(P8)

市立天童病院新築工事入札結果 …… 特集④(P9)

6 月 定 例 会

平成18年度第2回定例会（6月定例会）は、6月8日から21日までの14日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案件7件及び人事案件1件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成18年度天童市一般会計補正予算をはじめとする予算議案2件、一般議案3件の計5件は、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、議員提出案件3件の採決も行われました。結果は、下記のとおりです。（請願審査の結果については、12ページに掲載。）

審 議 日 程

月 日	内 容
6. 8	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など） 予算特別委員会（予算議案概要説明）
6.12 13	本会議（市政に対する一般質問）
6.14	本会議（一般議案に対する総括質疑） 予算特別委員会（予算議案に対する総括質疑）
6.15	各委員会（分科会）審査
6.21	予算特別委員会（各分科会委員長報告、質疑、採決） 本会議（委員長報告、質疑、採決）

提 出 さ れ た 議 案 と そ の 結 果

（市長提出議案）

議案番号	件 名	結 果
報第3号	平成17年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報 告
報第4号	平成17年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報 告
報第5号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第6号	財団法人天童市牧野公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第7号	財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第8号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報 告
報第9号	平成17年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報 告
議第3号	平成18年度天童市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議第4号	平成18年度天童市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第5号	天童市立保育園設置条例の一部改正について	原案可決
議第6号	天童市学校給食センター移転新築主体工事請負契約の締結について	原案可決
議第7号	天童市学校給食センター移転新築機械設備工事請負契約の締結について	原案可決
議第8号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意

（議員提出議案）

議会議案第1号	教職員定数改善のための次期計画を策定するよう国に求める意見書の提出について	原案可決
議会議案第2号	出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書の提出について	原案可決
議会議案第3号	ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書の提出について	原案可決

意見書

6月21日、議員提出の意見書3件が原案のとおり可決され、直ちに関係機関に送付しました。

▼教職員定数改善のための次期計画を策定するよう国に求める意見書
文部科学省では、平成18年度から第8次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画を策定する予定だったが、現在、政府で行われている総人件費改革をめぐる議論の中で新たな定数改善計画の策定は行わないことが盛り込まれた。

教育は未来への先行投資であり、国の責任において、子どもたちがどこに生まれ育ったとしても等しく良質な教育が受けられるように、財政論を踏まえつつも教育論の観点から、教職員定数改善のための次期計画を策定されることを強く要望するものである。

▼出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制

等に関する法律」の改正を求める意見書
全国の破産申立件数は、深刻な社会問題となっている。多重債務者を生み出す大きな要因の一つの高金利について、年29・2%という出資法の上限金利を少なくとも、利息制限法の制限金利まで早急に引き下げるとともに、みなし弁済の撤廃等を廃止するための法改正を強く要望するものである。

▼ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書
国は平成17年12月12日に、アメリカ・カナダ産牛肉の輸入再開を決定し、輸入が始まったが、平成18年1月20日にアメリカから輸入された牛肉に特定危険部位の脊柱が混入していたことが発見された。こうした極めてずさんな輸入に対して強く抗議するとともに、検査体制や特定危険部位の除去等に関する改善措置が明確にならない段階での拙速な輸入再開を行わないこと、国内のBSE対策について、牛肉を使用した外食、加工品等すべてに原料原産地表示を義務化する

ることを強く要望するものである。

第1回臨時議会

平成18年度第1回市議会臨時議会が4月26日に開催され、市長提出議案2件と報告案件2件が審議され、原案のとおり可決されました。

▼報第1号 平成17年度天童市一般会計補正予算(第8号)の専決処分承認を求めることについて
地方譲与税、地方交付税等の確定、起債許可額の決定及び除排雪業務委託料の精査に伴い、補正予算について専決処分をしたので、その承認を求めようとするもの。

の。

▼報第2号 天童市市税条例の一部を改正する条例の専決処分承認を求めることについて
地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税について所要の改正を行ったので、その承認を求めようとするもの。

▼議第1号 天童市市税条例の一部改正について
地方税法等の一部改正に伴い、個人市民税の税率の見直し並びに固定資産税及び都市計画税の税負担の調整等について、所要の改正を行うもの。

▼議第2号 天童市国民健康保険条例及び天童市立天童病院使用料及び手数料条例の一部改正について
診療報酬の算定方法及び入院時食事療養費に係る食事療養費用の額の算定に関する基準が定められたことに伴い、所要の改正を行うもの。

第3回臨時議会

平成18年度第3回市議会臨時議会が7月18日に開催され、市長提出議案1件が審議され、原案のとおり可決されました。

▼議第9号 救助工作車の取得について
救助工作車を更新するため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求めようとするもの。

議会のうごき

- 4月
 - 10日 議会だより編集委員会
 - 20日 議会だより編集委員会
 - 26日 議会運営委員会
 - 26日 第1回市議会臨時会
- 5月
 - 9～11日 建設常任委員会行政視察
 - 12日 各派代表者会
市長要請全員協議会
(重要事業要望書(案)他)
 - 15～17日 総務常任委員会行政視察
 - 15～17日 厚生常任委員会行政視察
 - 17～19日 文教経済常任委員会行政視察
 - 22日 各派代表者会
 - 30日 市長要請全員協議会
(天童市牧野公社、(株)スポーツクラブ天童、天童市文化・スポーツ振興事業団、天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画について)
- 6月
 - 1日 議会運営委員会
 - 7日 文教経済常任委員協議会
(津山小学校現地視察)
 - 8～21日 第2回市議会(6月定例会)
 - 8日 市長要請建設常任委員協議会
 - 21日 市長要請全員協議会
各派代表者会
議会だより編集委員会
- 7月
 - 6日 議会だより編集委員会
 - 13～15日 天新会行政視察
(愛媛県松山市他)
 - 18日 第3回市議会臨時会
厚生常任委員協議会
(市営バス)
総務常任委員協議会
(政策討論会)
 - 19日 議会だより編集委員会

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、6月12日、13日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。観光振興や地域づくり委員会、食育推進計画などについて、市長、教育長の見解を求めました。



観光振興

今後の振興策を どう展開するのか



森谷仙一郎議員

我が天童市

は昔から、温泉、将棋、フ

ルートなど観光に力を入れてきた。ただ、ここ数年において観光客入込数が減少傾向になっている。今、何らかの施策を講じる時期と思う。市長は今の天童の観光をどのように認識し、今後の観光振興策をどう展開しようと考えているのかを伺いたい。

遠藤市長 近年、経済情勢が

低迷し、観光地間の競争の激化や旅行形態の少人数化、個性化、多様化などに対応し、これまでにない観光誘客のための四季折々の祭り、観光イベント開催や特産物の物販活動を展開してきたが、本市を訪れる観光客は、減少傾向にある。

本市の観光は、全国的に知名度の高い将棋駒や天童温泉を始め、多くの観光資源に恵まれているが、多様化する観

光客の要望にすべて応えることが困難な状況にある。そこで、これらの観光面での資源に加え、新たな観光素材として地域が持っている自然や歴史、文化などを再発見、再認識して観光資源として生かしていくことが重要な課題であると考えている。さらに、高速交通網の伸展などにより、観光客の行動範囲が広がり、観光地間の地域連携が重要になってきており、今後、市



4月には人間将棋で賑わう舞鶴山

質問者と 質問事項

☆つばさ

(☆印は会派名)

☆つばさ

篠原みゑ子議員

*本市の食育に対する考え方と今後の取り組みについて

森谷仙一郎議員

*観光行政について

☆日本共産党天童市議団

石垣 昭一議員

*経営所得安定対策の今後の取り組みについて

*憲法改正の動きと第9条を守ることに

伊藤和子議員

*ゼロ・ウェイスト社会の実現に向けた取り組みについて

*子どもたちの食物アレルギーへの対応について

☆政和会

佐藤正男議員

*指定管理者について

*地域づくり委員会について

民、観光事業者、行政が一体になって魅力ある観光戦略を

立てて天童の観光を推進していく。

結城義巳議員

*雇用政策について

*土地政策について

*勤労者の給与政策について

後藤和信議員

*税金滞納の徴収について

*自転車の運転免許証について

高橋 博議員

*教育行政について

*犯罪のない明るいまちづくりに

☆天新会

*山形空港について

山口桂子議員

*舞鶴山(天童公園)の整備について

*子どもたちの心の発達へのきめ細やかな対応について

*市民サービスの改善について

武田達郎議員

*向原地区の学区の見直しについて

平成18年8月1日発行

(注) 地方6団体→全国知事会、全国都道府県議会議員会、全国市長会、全国市議会議員会、全国町村会、全国町村議会議員会をいう。

食物アレルギー

対象児童生徒の現状と給食の対応は



伊藤和子議員

食物アレルギー

の子どもが増加し、状況

によっては生命の危険にもつながる。個別対応が求められるが、保育園、児童館、小中学校での食物アレルギー対象児童生徒の現状と給食の対応について伺いたい。学校給食センターが新築されるが食物アレルギーに対応する方針は。

遠藤市長 市内の保育園、児童館に入所している781人の児童のうち、特定の食物アレルギーを示す児童は14人いる。各施設で給食やおやつを提供する際、事前に保護者に医師の診断書を提出してもらい、代替食品を用いた除去食を提供するなどの対応をしている。

小・中学校では、児童生徒5650人のうち20人が食物アレルギーを持っている。このため、学校給食の実施にあ

給食の対応は

たつては、事前に保護者に毎月の献立表と食品名の一覧表を渡し、代替食を家庭で準備してもらおうとともに、クラス担任が当該食品の除去を指導

している。酒井教育長 食物アレルギーの児童生徒への個別対応は、現在、保護者、医師、学校が連携をとり行っている。新学校給食センターの建設に伴って、食物アレルギーの児童生徒のための特別調理や除去調理室の想定はしていない。

山形空港

空港利用活性化策と滑走路延長計画の状況は



高橋博議員

山形新幹線の延伸や乗り継ぎの不便等

により、山形空港の利用者が減少している。今後の活性化について伺いたい。また、滑走路を500m延長する計画があつたが、現在の状況について伺いたい。加えて、札幌・大阪・名古屋便は小型機の運行であるが、中型機にできないのか伺いたい。

遠藤市長 東京便については、ビジネス客の利用や羽田空港からの乗り継ぎ面で重要な路線であり、県と30市町村などで組織する山形空港利

用拡大推進協議会で、東京便の旅行商品への助成、チャーター便の企画支援や山形空港フェスティバル、北海道物産フェアなどを開催し、空港の利用拡大を推進している。



運行体制の充実を要望している山形空港

少子化問題

最良の少子化対策は雇用政策の改善でないか



結城義巳議員

児童手当等、金のバラ

平成15年度から始まった国の計画では、地方空港の整備は、原則として継続事業に絞り込む方針が出されている。県では滑走路延長の国への要望を見送ることとし、今後の利用動向や航空を取り巻く情勢の変化を見守っている。山形空港利用拡大推進協議

会では、空港会社に対して、東京便及び札幌便の早期複数便化、大阪便の貨物機能を備えた中型機導入などを強く要望している。本市の重要事業要望としても、山形空港の運行体制の充実について、県に要望しているところである。

子化問題は解決しない。子どもを産んでも気兼ねなく勤められる職場にし、1週60時間を超える勤務をしなければならぬ企業風土、社会環境を改善することが最も重要な少子化対策であると考えている。市長会等の地方6団体から、国に強く訴えて欲しい。

遠藤市長 政府は少子化対策に関する協議会を発足させ、総合的な対策を打ち出す方針のようである。週60時間勤務の問題も、長期的な視点で労働

体制を見直していかなくてはならない。本市では、これらの問題に対応するため、事業者に対して労働基本法、男女雇用機会均等法などの労働に関する法律や仕事と家庭の両立を支援する各種制度について周知を図るとともに、市雇用対策協議会を通して、雇用の安定についてお願いをしている。子育てと仕事を両立できるような環境づくりを国の政策の基本的な指針として作り上げていく必要があると考えている。今後とも、国、県などの施策と連携しながら雇用対策を進める。

計画策定に向けて

具体的な施策、家庭・学校の役割は



篠原みよ子議員

国は、平成17年6月、食育基本法を制

定し食育を知育・徳育・体育の基本と位置づけ、子どもの人間性を育む基礎とした。今後天童市の食育推進計画の策定に向けて、具体的な施策と家庭・学校における役割、指導方法などをどう考えるか。また将来、学校に配属される栄養教諭の役割も併せ、市の



学校給食では食の大切さも学ぶ

考え方を伺いたい。

遠藤市長 第5次市総合計画後期推進計画及び健康てんど21行動計画の中に食育の推進を盛り込み、食生活改善推進員と協働で、健康な食生活や生活習慣病の予防などの事業を推進していく。本市の食育推進計画の策定にあたっては、今年度の山形県食育推進計画の策定状況を見据えなが

農家経営



石垣昭一議員

来年度から新たな経営安定対策に移行

農業の現実にあった地域の生産を守る取り組みが必要

するが、多くの農家が対象から外されることが明確になっている。これまで特別に対策を取るよう求めてきたが、どう手立てを取ったのか。農業の現実を無視した制度の矛盾が広がっている。地域の生産を守る取り組みが必要と思う

ら対応していきたい。

酒井教育長 朝食を食べない子どもが増え問題となっているが、食事は健康で文化的な生活を営むための基盤であり、家族みんなで同じものを、同じ時間に、同じ場所という、3つの基本が大切であると考えている。

栄養教諭の役割は、肥満傾向の子どもや食物アレルギーを持つ子どもなどへの個別の栄養指導や給食時間を中心とした食に関する指導が期待されている。

が、市長の考えを伺いたい。

遠藤市長 これまで各地区の認定農業者、農政推進員の方々に対し説明会を開催したり、全農家に対しパンフレットを配布するなど、制度の周知を図ってきた。本対策については、国会で法案成立後、制度の詳細が国から示されるので、認定農業者に情報の提供を行い、制度の周知を図る。集落営農については、本市

の営農形態が果樹を中心とした複合経営がほとんどで、集落の合意形成が難しい状況にある。

要な役割を果たすものと思っ

地域づくり委員



佐藤正男議員

市長就任時の6つの改革の一つが「地域づくり委員会等を設置して

地域に新たな活力を生み出していくこと」であった。

目標とした10年を目前に控え、地域づくり委員会のこれまでの経過と現状をどのように捉え評価しているのか。また、今後考えている方策について伺いたい。

10年間の経過・現状の評価と今後の方策は

酒井教育長 地域づくり委員会は、地域ごとに特色ある学習活動を通して、地域課題や生活課題について、できるものから解決することに取り組みしてきた。

さらに、地域づくり委員会の代表者で組織する市地域づくり推進委員会では、ゴミ減量化への取り組みを共通課題として、行政との連携を模索するなど、その活動が本格的に機能し始め、一定の成果を上げていくと評価している。

しかし、各地域間での活動に温度差が生じていることや全市民に委員会活動が浸透しているとはいえないところもある。今後は、このような課題を解決しながら、昨年度全市的に設立したサポーター人材バンクの活用を図りながら、地域づくり委員会の活動の輪が広がり、地域づくりが推進されるよう行政として支援を継続していきたい。



小・中学生の通学を本来の姿に ―登下校の安全対策を―



武田達郎議員

向原地区の小学生・中学生は以前から

東根市行政区にお世話になってきた経過がある。現在、北部小学校も開校になり、この時期に本来の姿に戻すべきであると考えられる。そこで問題なのは、登下校の安全対策である。万代橋の歩道橋もあるが冬期間の問題もある。登下校時の安全確保について伺いたい。

酒井教育長 向原地区は、昭和41年3月に本市と東根市との間で区域外就学の措置に關し覚書を締結し、東根市に区域外就学の措置をしてきた。その後、昭和57年4月、天童北部小学校の開校に際し、当該地域の学区を北部小学校と定めているが、実際の就学については、神町小学校等への通学が定着していることなどの理由から、引き続き区域外就学が継続されてきた。

現在、向原地区には対象者がいない状況にあるが、平成21年に1名、23年に3名の児童が入学する予定になっている。これまでの歴史的な経過

舞鶴山整備

桜の老木化への対応や

愛宕沼の整備計画は



山口桂子議員

舞鶴山（天童公園）の長期の整備計画

として、観光案内板・駐車場・

公衆トイレ等・樹齢100年を超える桜の老木化について、どのように対応していくのか。公有地拡大に向けての方策はあるのか。そして、愛宕沼の水面の有効活用と周辺が明るく安全になるように整備する計画はあるのか。

遠藤市長 天童公園の面積65畝のうち約3分の1にあたる20畝を市で所有している。これまで、もみじ公園や文学の森の整備に併せた用地の取得

等があるので、地域の方々や保護者の意向を聞いて慎重に対応したい。

遠藤市長 登下校の安全確保、冬期間の歩道の除雪について、支障のないように対応しなければならぬ。保護者、地域の皆さんと十分話し合い対応したい。

や七日町ふれあい古道の用地の確保など、市有地の拡大に努めてきた。今後とも公園整備の促進並びに舞鶴山の重要



市民の憩いの場となっている舞鶴山

な自然や史跡、文化保全のためにも、計画的に用地の取得を図っていきたい。

駐車場については、大型バスは沼下広場に駐車をお願いし、マイクロバス程度は山頂まで運行できるように配慮している。また、公園の景観等に配慮しながら汲取り式トイレの統廃合を行い、案内板については更新や整備を計画的に進めていきたい。桜につい

滞納対策

滞納額の圧縮に どう対策を取るのか



後藤和信議員

滞納税額が累積で約10億円になってい

る。税収がたいへん厳しい状況に置かれている。

職員も一生懸命滞納額の圧縮に努力しているが、滞納額は増加の一途である。滞納額の圧縮にどのような対策を取るのが伺いたい。

遠藤市長 収納向上対策については、行政課題プロジェクトとして庁内に収納対策委員会を立ち上げ、税負担の公平

では、樹種や密度のバランスに配慮し、これまでのように市民の協力も得ながら計画的に植栽したい。

親水空間の乏しい市街地で、愛宕沼周辺は市民が水と緑に触れ合える重要な空間であり、愛宕沼を周回している市道の安全対策やトイレの整備など、沼周辺の整備計画を検討していきたい。

と財源確保に取り組み予定である。委員会は関係部課長を委員として、特別徴収チームによる訪問催促及び夜間徴収を含め、休日の納税相談や納税窓口の開設なども検討し、きめ細かな対策を行う予定である。

また、口座振替の促進や納められた税金によってどのような行政サービスを展開するかなど、わかりやすく広報するとともに自主納税を啓発する広報活動を充実したいと考えている。

総括質疑

総括質疑は6月14日に行われ、文教経
済常任委員会から赤塚幸一郎議員、総務
常任委員会から山口桂子議員が予算議
案に対する質疑を行いました。
質疑の主な内容は次のとおりです。

災害弔慰金

いつ支払われるのか

赤塚議員 災害弔慰金500
万円を支給するという補正予
算について、2月の除雪作業

するのに合わせて今議会で補
正をすることになった。

と長野県の2県にまたがり災
害救助法が適用されたため、
本市でも適用されることと
なった。

中の災害被害に対して未だ支
払われていない訳だがいつ支
給されるのか、又過去に適用
された事案がないと思われる
が、今回なぜ支給対象となっ
たのか、その該当要件の内容
について説明を伺いたい。

この弔慰金が支給される条
件は2つ以上の都道府県にお
いて災害救助法が適用される
ような災害があった場合、全
国で適用されるものである。
今回の豪雪については新潟県
であった。

なお、災害救助法との関連
において、適用条件が大変制
限されていることから、本市
においては、これまで昭和52
年の条例制定以来、災害弔慰
金制度で支給された事例はな
かった。

阿部市民部長 今回の災害弔
慰金は、2月の豪雪時の除雪
作業において亡くなられた方
のご遺族に対して支給するも
のである。

放課後児童 クラブ

委託料の割合は

支払時期は補正予算の議決
終了後、速やかに支払う予定
である。財源は国が2分の1、
県、市が4分の1ずつ支出す
ることになっており、県が6
月定例議会に補正予算を上程

山口議員 放課後児童健全
育成事業費における委託料
465万3000円の内訳と
して、山口小地区・干布小地
区の現状と委託料の割合につ
いて、また当初予算に計上さ
れなかった理由について、そ
して公的施設（小学校舎）と
民間施設では補助金に違いが

あるか伺いたい。
阿部市民部長 近年の家族の
就労形態の変化などから、保
護者が昼間家庭にいない児童
が増加し、山口、干布両地域
とも放課後児童クラブの設置
を求める動きが高まり、公民
館長や民生児童委員など地域
の役員の方々、保護者などが連
携を図り地域一体となり、放
課後児童クラブの開設準備を
進めてきたところである。

山口児童クラブ（7人）は
6月3日に山口小学校西校舎
に、干布児童クラブ（9人）は
4月11日に干布公民館旧管理
人室に開設した。465万3

000円の内訳は山口児童ク
ラブ225万8000円、干
布児童クラブ239万500
0円である。
当初予算に計上できなかった
理由は運営主体となる山口
児童クラブなしこ会が5月
24日、干布児童クラブ協会が
3月27日に設立されたため
ある。

また民家を借り放課後児童
クラブを運営する場合は月額
8万円を限度として施設費を
加算しているが、基本的な運
営費の算定基準については公
的施設も民間施設も同じであ
る。



4月に開設された干布児童クラブ

一般会計補正予算(第1号)のあらまし

(単位：千円)

補正額	9,653
補正後の予算総額	18,419,653

◆主な内容 (単位：千円)

◎歳入	
県支出金	4,958
財政調整基金繰入金	4,695
◎歳出	
社会福祉総務事業費	5,000
放課後児童健全育成事業費	4,653

固定資産評価審査委員会委員に

楯 悟朗氏を再任

平成18年6月30日で任期満了となる
現委員の楯 悟朗氏(67歳、歳増)
を再任することに同意しました。

(注) オーダリングシステム→「検査・処方等に係る情報伝達システム」のこと。医療現場の一部業務を電子化し、病院業務の省力化と、サービス提供の短縮化を目指すもの。

特集

議会では

④

今回は再び

市立天童病院です

市立天童病院新築工事入札結果
市議会全員協議会に報告

6月21日、市議会全員協議会に市立天童病院の新築工事入札結果について報告がありました。地方公営企業法第40

条で天童病院の工事請負契約は議会の議決がいないため報告のみとなったものです。

■市立天童病院新築工事入札結果

1. 主体工事		
企業体名	落札価格	落札率
西松・丸吉特定建設企業体	1,340,000千円	93.7%
2. 機械設備工事		
企業体名	落札価格	落札率
黒澤・後藤共同企業体	620,000千円	94.7%
3. 電気設備工事		
企業体名	落札価格	落札率
ユアテック・東北電化工業共同企業体	278,400千円	87.3%

昨年9月5日に開設許可が下り、地権者と土地の売買契約を締結。今年3月末に久米設計による実施設計が完成し、起債についても要望通り認可されたと市民部長の報告がありました。

主体工事、機械設備工事、電気設備工事とも自主結成方式の共同企業体（特定建設企業体ⅡJV）で行うことを5月23日に公告し、主体工事、機械設備工事には各7企業体、電気設備工事には9企業体が応募し、6月20日、条件付一般競争入札の結果、上記の企業体が落札しました。

新病院は免震構造・鉄筋コ

ンクリート3階建て、一般病床54、療養病床30の計84床、診療科目は現行と同じ内科、外科、産婦人科、小児科、脳神経外科の5科です。

工期は平成18年8月に着工し、平成19年中に完成予定。オーダリングシステム・電子カルテなどの研修を積み、平成20年4月開院の予定です。

先に開かれた厚生常任委員協議会では、病院建設の進捗状況、全国的に問題になっている医師確保や病院職員の接遇改善について、医療改正による病院経営への影響などが話し合われています。

常勤医師2名、看護師13名、放射線技師1名増員の他に、理学療養士が新たに1名必要で、人的確保に総力を挙げ、接遇改善については院内にサービス向上委員会を設置し改善方に努めていると松本院長から説明がありました。

常任委員会

天童市立保育園設置条例の一部改正についての一般議案1件と予算議案2件、請願陳情4件は所管常任委員会（予算分科会）に付託され審査されました。主なものは次のとおりです。

厚生常任委員会

ひかり保育園の跡地利用は

委員 4月以降のひかり保育園跡地及び隣接している職員及び保護者送迎用駐車場の借り上げ地をどうするか。

児童家庭課長 跡地については未定であるが、地区懇談会において公的利用を考へてはとの意見があった。駐車場跡地は土地所有者との借り上げ契約を解除し返却する予定である。

文教経済常任委員会

教職員定数改善計画について

委員 少子化のなかで、定数を改善する、増やしていく必要が本当にあるのか。

学校教育課長 県では「さんさんプラン」及び7次改善で教員が規定より増員配置されているが、総数は減少しているのが現状である。

総務常任委員会

財政調整基金の残高は

委員 財政調整基金について

8次改善が実施されないと少人数指導や軽度発達障害など新たな教育課題に対応する教員配置ができず、大変厳しい状況になる。

総務常任委員会

(5月15日～17日)

大分県^{うすき}臼杵市
福岡県^{おおむた}大牟田市

市民と議会、市役所、市長が
一体となった実践活動

臼杵市は人口4万3286人のリアス式海岸に囲まれた歴史と伝統あるまちである。平成10年に全国に先駆けてバランシートを導入、その後もサービス検証システムづくりや行財政改革のスパイラルシステムなど、行財政改革に積極的に取り組んできた先進地でもある。

今回は市民と議会と市役所

と市長の四位一体となった感動お届け市役所づくりが実践活動として取り組まれていた。中でも市長と議会が一体となった政策討論会の開催は、市民から大きな期待を寄せられている。

大牟田市は福岡県の最南部、有明海に臨む人口13万2742人の自然と海産物に恵まれたまちであり「月が出た出た月が出た」と歌われた三池炭鉱はあまりにも有名である。しかし、財政的には基幹産業であった三井三池炭鉱の閉山により、地域産業全体が長い期間にわたり低迷して経済活動は停滞を余儀なくされ



行財政改革の説明を受ける総務委員（臼杵市）

ると同時に、人口の流出、生産年齢人口の減少は、市税収入の激減など自主財源の割合が著しく低くなった。近年は特に他市に比べ、自主財源が37%と小さく、国庫補助金や地方交付税など、依存財源に頼らざるを得なくなった。他方、歳出においては人件費や扶助費など、義務的経費

が62%と大きな割合を占めていた。そのような状況の中で企業誘致や地域振興に取り組み、税収の増収を図ると同時に歳出削減に取り組んだ。具体的には、3年で128名の人員削減を柱とした財政再建3か年計画を平成18年度から実施し、収支のバランスに努めている。

厚生常任委員会

保健センターを

市民の健康づくりの拠点に

福岡県^{まえはる}前原市
佐賀県^{とす}鳥栖市

(5月15日
～17日)



前原市で市民バスの説明を受ける厚生委員

前原市は人口6万8000人、面積104.5km²、福岡市に30分でアクセスできる。市民バスについて、第1回再編（平成13年～15年）「特別指定生活路線」の指定を受け、3路線を運行。ミニバス（ジャンボタクシー）による2路線の運行。中心部で30分毎に右・左回りの循環バス（ぐるりんバス「150円」）を運行。第2回再編（平成16年）では、デマンドバス（電話予約）を運行するが失敗。循環バスの運賃を100円に

値下げ。利用者増について地域と協議。1か月3000円のフリー定期券（ふあみりーパス）、20枚綴りの5000円券（フリーきっぷ）を発売。商店街の販売促進に活用。1. 2倍の収入増を図る。第3回再編（平成18年）で全便ミニバスに替える。循環バスは廃止。各路線は5割減便、民間タクシーに委託し、経費が1億円から2400万円となり、市の持ち出しも1400万円に減少した。天童市での再編の参考になる取り組みで

あった。鳥栖市においては保健行政と保健センターの運営について視察。うららトス21プランを作成（平成14年～22年）し、18年度に中間見直しをした。主な内容として、保健センターを市民の健康づくりの拠点とした。母子保健事業では、母子保健推進員を設置して、訪問指導や各教室を開催。成人関係では、糖尿病・生活習慣病予防教室等で健診結果による個別指導を実施。また、高齢者に対する健康大学事業を今年で実施。市民の健康への関心が高くなり、参加者が年々増えている。

委員会 察の報告

常任

行政視

文教経済常任委員会

(5月17日～19日)

いずも市
鳥根県出雲市
くらしよし市
鳥取県倉吉市

伝統的な建造物など歴史・文化を生かしたまち並み

出雲市は平成17年3月、2市4町が合併し、人口14万7000人の新出雲市が誕生した。平成18年4月から機構改革を実施し、文化、スポーツ生涯学習部門を市長部局にて補助執行することとした(旧出雲市では平成13年から実施済み)。機構改革の効果としては、教育委員会が学校教育に特化されたことにより、教育委員の学校訪問が充実する



倉吉市のまち並みを視察する文経委員

など、教育委員と学校現場が課題を共有することにより、不登校対策指導員の配置やスクールヘルパー(有償ボランティア)を増員したのをはじめ、学力調査の実施など様々な事業に着手できた。一方、生涯学習部門では、公民館のコミュニティセンター化を図り、決裁が速くなったことや全市的な取り組みとして、子ども会の育成が強化されたことが挙げられる。この改革は市長の意向が大きく反映されており、市長部局と教育委員会が「教育行政連絡協議会」を随時開催し、この制度をうまく機能させているようである。

倉吉市は、人口5万2500人で、地域資源を活用し、テーマを「遙かなまちへ」(ほんものに会えるまち)と設定して、まちづくりの展開を図ってきた。商業まちづくり団体「あきない中心倉」や(株)赤瓦を創設し、「住む人が

心地よければ、訪れる人も心地よい」を目指して、重要伝統的建造物群保存地区などの歴史的資源や文化を生かした取り組みを続け、倉吉のまち並みも、近年になって面的な広がりをもって評価されるようになったとのことである。

建設常任委員会

バリアフリー基本構想に市民のワークショップを実施

大分県中津市

別府市

由布市

(5月9日～11日)

大分県中津市では「街並み景観整備づくり事業」について視察した。土地区画整理事業に伴い、歴史的風情を持った景観づくりを図るため、特定区域内の環境を整備する事業に対し、建築費の一部を補助する制度が実施されており、城下町をイメージした街並みが整いつつあった。今後、本市の土地区画整理事業においても、市民との対話を重視しながら事業を実施することが必要だと感じた。

続いて「別府市交通バリアフリー基本構想」については、別府駅、亀川駅の周辺2地区を国土交通省の補助(3分の1)により、バリアフリー化を計画していた。特徴としては、その地区の代表者等地元住民を中心に検討委員会を設置したり、公募による市民のワークショップを実施することで、その地区に本当に必要な整備内容を拾い上げ、構想に反映されていることだった。

最後に、指定管理者による道の駅運営に関し「道の駅ゆふいん」の話伺った。この施設は、年間観光客数380万人を誇る由布市の玄関口として、平成15年9月に開業し、昨年の4月から指定管理者制度による営業に移行している。これまでは維持管理経費相当分として約1千万円の委託料があったが、指定管理者制度への移行に伴い、行政からの支出は0円になったそうである。それでも、特産物の直売や観光土産品、屋台等での飲食物の販売等により、総売上が3億5千万円にも上り、逆に市に寄付をしているとのことだった。指定管理者制度による道の駅運営の理想的な成功例ではないかと思う。行政と民間との協力の重要性を改めて認識したところである。



別府市で説明を受ける建設委員

市民の声

第二回市議会定例会の傍聴

案内が市婦人団体連絡協議会よりあり、何はともあれ初体験と、意を決して議場に入りました。既にもう一般質問が始まっておりました。我がまを遂行している中枢部分に自分がいる事に、当初上がり下り、周囲に力が入り、周りをキョロキョロしてました。

その内に「食育」という言葉が耳に入りました。個人的にも「食育」には少し敏感になっていたので、興味深く拝聴いたしました。いろんな角度からのデータを元にした議員さんの質問に「ああやはりそうなんだ」と思う所も多々ありました。朝ご飯を食べないで学校に行く子供、また朝ご飯をつくらない大人、揃って食卓を囲む事がない孤食の日々、これらは物余り社会の中での不幸な出来事だと思います。「食」は、生存する生き物すべてが誰にも教わる事なく本能的に欲する物だと思えます。その基礎となる生活

初めての議会傍聴

高橋あや子（山口）

の見直しは私達一人ひとり、公の場は元より、先ずは家庭、家族からの話し合いでしっかりと伝えていくべきものと感じとって参りました。

また観光行政においては「温泉」「人間将棋」「さくらんぼ」「そば」といった豊かな資源に恵まれていながらも、かわらぬ盛り上がりの方は今いぢではないだろうか？ではその要因は？と白熱あるやりとり、ある感銘を覚えました。

やはり、地元私達の自身の盛り上がり、また忌憚のない意見、協力があつてこそ、行政とうまくタイアップし、天童らしいスタイルが定着するものと思えます。その為にも議員の皆様方には気軽に話しかけられる空気も作って戴き、私達の声を市政に伝えてもらいたいと思えます。

今や市の倒産もあるご時世、その様な事が起こらない様、市民一人ひとりしっかりと自分の足元を見つめ、市政に目を向けて老後も安心して暮らせる様なまちづくりに期待したいと思えます。

議員の皆様方には、益々のご活躍と健康を心から願っております。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は4件（継続審査1件）で、所管常任委員会が審査したあと、次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
教職員定数改善のための次期計画を策定するよう、国に対して「意見書」の提出を求める請願	山形県教職員組合 山形地区支部 支部長 櫻井啓志	文教経済	採択
高金利引き下げに関する請願	山形県司法書士会 会長 山内貞範 日本司法書士政治連盟山形会 会長 渡部秀一	文教経済	採択
消費者金融等の金利引き下げについて意見書提出を求める請願	天童地区 労働者福祉協議会 会長 栗原 啓	文教経済	採択
ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書の提出に関する請願	食とみどり、水を守る 山形県労農市民会議 議長 橋本喜久夫	文教経済	採択

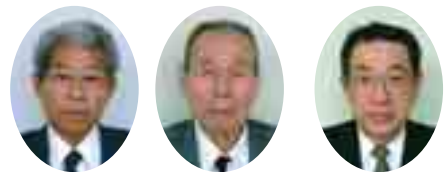
永年勤続表彰

5月24日に開催された全国市議会議長会総会において、永年勤続者として次の方が表彰されました。

○議員30年以上

○議長4年以上

高橋 博議員 奥山成也議員 青柳仁士議員



○議員10年以上

水戸 保議員 小澤 精議員



編集後記

●この度の市議会だより113号が皆様の目に入る頃は、天童名産の「さくらんぼ」のシーズンを終え夏本番を迎えて、暑い毎日を送っている事と思います。

●天童市に於いても新学校給食センター、市立病院の新築工事等の重要事業が始まり市民の皆様への期待に応える施設になるよう議会も真剣に協議を重ねているところでございます。

●皆様も暑さの中、天童夏祭りを始め各地域の行事等々で何かと忙しい時期になると思いますが、健康管理に充分留意され天童の「暑くて」「熱い」夏を乗りきって頂きたいと思えます。

《議会だより編集委員会》

- 委員長 伊藤和子
- 副委員長 篠原みゑ子
- 委員 小澤 精
- 長岡 繁
- 佐藤 正男
- 木村 竹虎
- 山口 桂子

